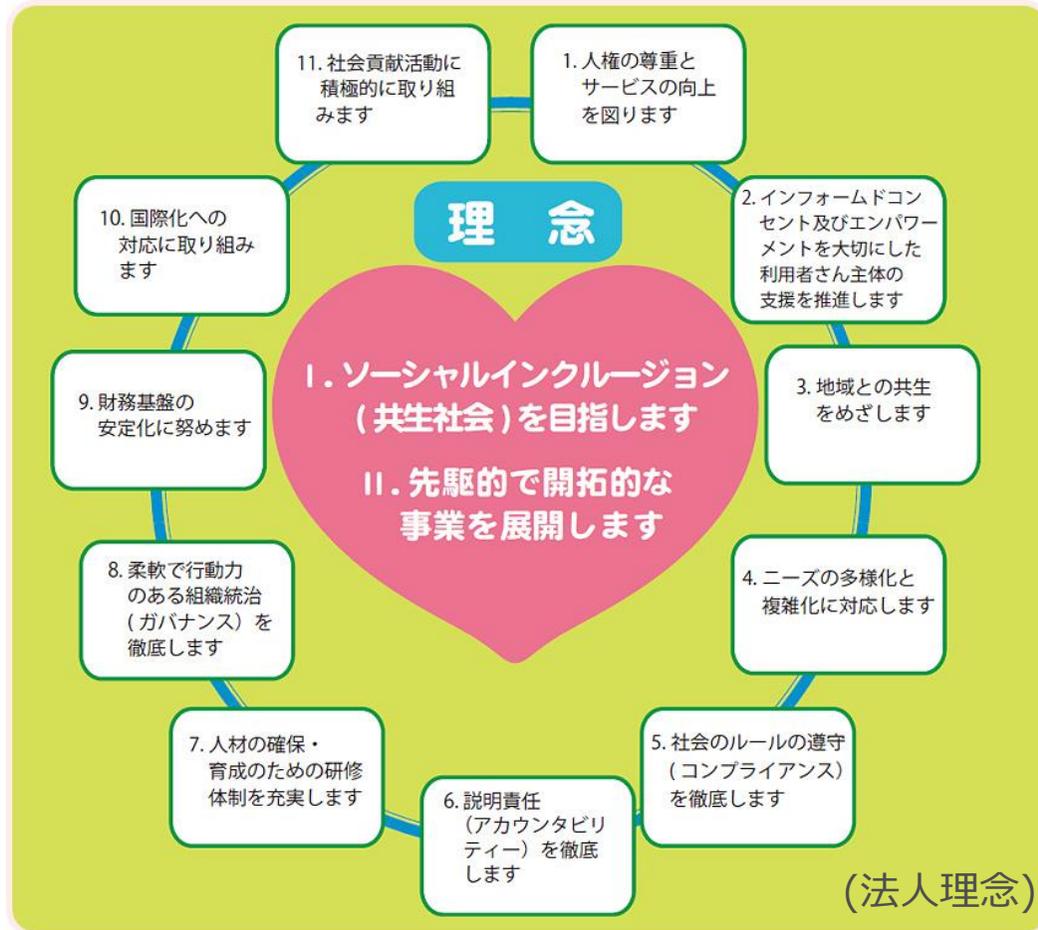


社会福祉法人 県央福社会
やまと発達支援センターWANTS
放課後等デイサービス事業
支援プログラム



作成:2024年12月24日

支援の基本的な方針

私たちは
「子どもひとりひとりが抱く思いや願い」＝「WANTS」を尊重し
子どもひとりひとりで異なる「WANTS」を丁寧に探りながら
「WANTS」の真の実現を支援する取り組みを
ご家族と一緒に行っていきます

- ◆ 将来の自立した生活を目指し、実現性の高い総合的な支援を展開します。
- ◆ 多角的な視点からのアセスメントを基に、ひとりひとりに合った支援の方向性を導き出します。
- ◆ それぞれの障がい特性に合わせた、最適な支援方法を実践します。
- ◆ 5領域を始め、年齢や障がい特性等を踏まえた、バリエーション豊富な活動を提供します。
- ◆ 保護者の不安、疑問等に適切に応えながら、子育てを丁寧にサポートします。
- ◆ 保育所・幼稚園、学校等と連携しながら、地域での子どもたちのより良い生活を支援します。

- ・健康状態の維持・改善
- ・生活習慣や生活リズムの形成
- ・基本的な生活スキルの獲得

健康・生活

- ・行動障害への予防及び対応
- ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得
- ・認知の特性についての理解と対応

認知・行動

5領域

運動・感覚

- ・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上
- ・姿勢保持と運動・動作の補助的手段の獲得
- ・身体の移動能力の向上
- ・保有する感覚の活用
- ・感覚の補助及び代行手段の活用
- ・感覚の特性への対応

言語

コミュニケーション

- ・コミュニケーションの基礎的能力の向上
- ・言語の受容の表出
- ・言語の形成と活用
- ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得
- ・コミュニケーション手段の選択と活用
- ・状況に応じたコミュニケーション
- ・読み書き能力の向上

人間関係
社会性

- ・アタッチメント(愛着)の形成と安定
- ・遊びを通じた社会性の発達
- ・自己の理解と行動の調整
- ・仲間作りと集団への参加

本人支援

領域	具体的な支援内容
健康・生活	<ul style="list-style-type: none">・体調の把握・運動プログラム(公園等・室内)・外出プログラム・買い物プログラム・調理プログラム
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none">・運動プログラム(公園等・室内)・ムーブメントプログラム・サーキットプログラム・制作課題・作業課題(組み立て・分類・伝票・清掃・整理など)
認知・行動	<ul style="list-style-type: none">・個別認知課題(マッチング・数量概念・大小比較など)・集団活動(あつまり・ゲーム遊びなど・模擬討論など)・場面の構造化・視覚支援(写真、イラスト等を用いたスケジュール・タイムタイマーなど)
言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">・個別認知課題(言葉の概念形成・場面による言葉の選択など)・集団活動(あつまり・ごっこ遊び・模擬討論など)・言葉以外のコミュニケーション手段の活用
人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none">・集団活動(あつまり・ゲーム遊び・ごっこ遊びなど)・外出プログラム(ボウリング・ウォーキング・公共交通機関利用など)

・アトリエ教室

家族支援

- ・保護者からの子育てに関する不安や疑問等に対する相談支援
- ・子どもの発達状況や、特性等の理解促進
- ・将来を含めた子育てに関する環境や資源、法制度等に関する情報提供
- ・「振り返り」の際の活動状況の説明、家庭等の状況の聞き取り

地域支援・連携

- ・学校との子どもに関する情報の共有
- ・学校からの要請に応じた、支援方法等に関する相談支援
- ・地域の相談支援事業所や他の放課後等デイサービス事業所との情報交換や連携

移行支援

- ・進路や移行先に関する情報提供と相談支援
- ・進路や移行先との子どもに関する情報共有と、支援方法等に関する相談支援

職員の質の向上

- ・事業所内でのケース検討、支援スキル向上の為の勉強会 ・法人内および外部研修の受講
- ・定期的な虐待防止研修の実施